新庁舎建設だより
～八女市新庁舎建設工事～

2023年10月 No.20
発行：八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

現在１階から５階までの内装工事を進めています。すでに１階では床の工事に入っています。外部では、先月上旬から着手した八女材を活用した木製ﾙｰﾊﾞｰ工事が間もなく完了する予定で、各階の塗装工事や防水工事も着々と進んでおり、今月下旬から徐々に外部足場の撤去も始まる予定です。10月26日からは、広報八女でもお知らせしたとおり、おりなす八女から市役所への通路が外構工事着手により通れなくなります。来庁される皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。　（※通行止めの状況→）

新庁舎棟工事全景
（令和5年9月28日　敷地南東角よりドローン撮影）

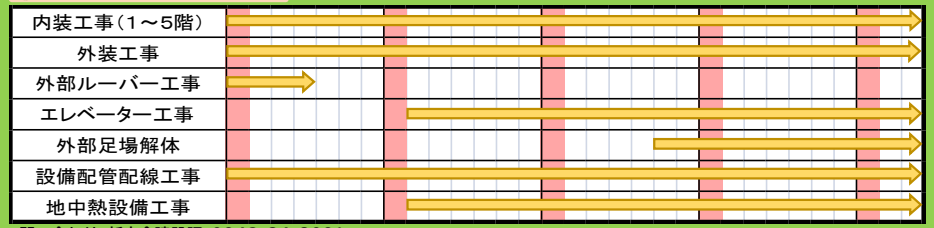
1階　執務室はOAﾌﾛｱで、床下に配線や配管等が通ります。

4階　大空間の議場は、今後内部天井に木製ﾙｰﾊﾞｰが施工されます。

屋上　防水ｼｰﾄの上に断熱材を敷き込んだ後、ｺﾝｸﾘｰﾄで保護します。

10月の工事予定

※ 現場全休日：日曜日



問い合わせ：新庁舎建設課：0943-24-8091
工事現場事務所：0943-24-8650（施工業者：東急・ｲﾉｳｴﾊｳｼﾞﾝｸﾞJV）

八女産スギの活用

新庁舎では八女産のスギを多く使用しています。その中の一つである、外部の木製ﾙｰﾊﾞｰの取付工事を行いました。このﾙｰﾊﾞｰは、日射遮蔽による環境負荷の低減と地域産材の活用及びPRという効果を持ち合わせています。

材料は、将来のﾒﾝﾃﾅﾝｽも考慮し、一般的に住宅の柱などで使用され流通の多いｻｲｽﾞである、10.5cm×10.5cm×約５mの角材を４本組み合わせて使用しています。

屋外で使用する部材であるため、長期にわたって耐久性を保つよう、割れや腐れを抑制する無毒性の特殊な保存処理を施しています。この処理方法を施した材料は、20年を経過しても、腐朽することなく健全な状態を保っている実績があり、ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄの低減を図ることができるため、世界遺産の厳島神社などでも採用されています。

①伐採後の八女産のスギ丸太

②10.5cm×10.5cm×約5mに製材したスギを注薬缶に搬入し、薬剤を加圧注入します。

③薬剤加圧注入後、30～40日程度養生し、天然乾燥させます。

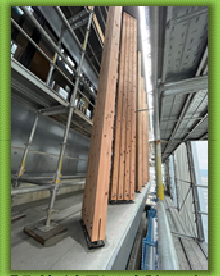
④乾燥が完了し、現場に搬入された材料。

⑤パラで搬入された材料を、取付位置附近で、ルーバー1ヶ所分の4本一組に組立てます。

⑥ルーバーを建物に固定するための金属製プレート。約5mあるルーバーを上下で支持します。

⑦組立てた部材を、クレーン等で吊り上げて取り付けます。

⑧外部足場の間に吊るして落とし込み、プレートに差込みます。


⑨取付が完了した木製ルーバー。全部で200ヶ所設置します。